

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋情報メディア専門学校
設置者名	株式会社エスシーシー

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	総合情報(大学併修)学科	夜・通信	990	320	
	ゲーム学科	夜・通信	480	240	
	C G ・ W e b 学科	夜・通信	750	240	
	I T スペシャリスト学科	夜・通信	960	240	
	メディアデザイン学科	夜・通信	330	160	
	I T (情報技術) 学科	夜・通信	300	160	
	I C T ビジネス学科	夜・通信	180	160	
(備考) ※メディアデザイン学科は、令和3年度生以降募集停止中であり、2年次の時限数のみを提示 ※ICTビジネス学科は、令和3年度新規学科のため、1年次の時限数を提示					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

希望者には学校備付けの「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表を閲覧させる
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映する組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	名古屋情報メディア専門学校
設置者名	株式会社エスシーシー

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	学校関係者として卒業生、企業及び学識経験者から構成される委員が、学校の自己評価結果をもとに、教育理念と目的に沿った人材育成がなされ、かつ、健全な学校運営が行われているか評価し、その評価結果を教育活動その他の学校運営改善等に活かし、学校運営の客観性と透明性を高めることを目的とする。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
中部IT協同組合 副理事長	R3.4.1～R4.3.31	業界団体役員
(株)ハーモネット 取締役会長	R3.4.1～R4.3.31	企業委員
(株)エスシーシー 執行役員 名古屋支店長	R3.4.1～R4.3.31	企業委員
(株)エスシーシー 名古屋支店 マネージャ	R3.4.1～R4.3.31	企業委員
(株)エスシーシー 名古屋支店 部長	R3.4.1～R4.3.31	卒業生
光陽カメラ	R3.4.1～R4.3.31	地域住民
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名(学部等名)	名古屋情報メディア専門学校
設置者名	株式会社エスシーシー

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。</p> <p>実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。</p> <p>なお、シラバスの公表については、作成次第すみやかに行う。</p>	
授業計画の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者には学校備え付けの「シラバス」を閲覧させる ・学生には学生用校内 Web サーバーで公表
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。</p> <p>最終評価点に対する成績評価(秀・優・良・可・不可)については、明確な点数基準を定めており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校ではG P Aを導入していないものの、5段階の成績評価(秀・優・良・可・不可)を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで全学生へ周知している。</p> <p>また、成績の分布状況については、半期毎に通知する成績通知書に対象学科における「学年順位」を記載しており、学生は自身の成績が下位4分の1に入っていないかを把握できるようにしている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページアドレス https://www.ncs.ac.jp/info/pdf2021/info2.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページアドレス https://www.ncs.ac.jp/info/pdf2021/info1.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋情報メディア専門学校
設置者名	株式会社エスシーシー

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	希望者には学校備付けの「貸借対照表」を閲覧させる
収支計算書又は損益計算書	希望者には学校備付けの「損益計算書」を閲覧させる
財産目録	
事業報告書	希望者には学校備付けの「事業報告書」を閲覧させる
監事による監査報告（書）	希望者には学校備付けの「監事による監査報告書」を閲覧させる

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	総合情報(大学併修)学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,590時間	2,400 時間	870 時間	1,320 時間	時間	時間
			4,590時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		390人	0人	12人	0人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法が統一されている。
成績評価の基準・方法
本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価（秀・優・良・可・不可）を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。
卒業・進級の認定基準
<p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる

<p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠 及び 成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。</p>

<p>卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>																																					
卒業者数		進学者数		就職者数 (自営業を含む。)		その他																															
72人 (100%)		0人 (%)		62人 (86%)		10人 (14%)																															
<p>(主な就職、業界等) IT業界及びゲーム系業界 (株)KSソリューションズ、(株)MDロジスシステムソリューションズ、NCS&A(株)、NDSインフォス(株)、NTPシステム(株)、(株)アイエスエフネット、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)エスシーシー、(株)オーディーシー、(株)オープンセサミ・テクノロジー、カチシステムプロダクツ(株)、(株)グッドフェイス、サービス&セキュリティ(株)、サンテクノ(株)、(株)シーエスイー、(株)ジェイアール東日本情報システム、システナ(株)、(株)システムサーバー、(株)システムマネージメント、(株)システム東海、(株)ジャコム、(株)データサービス、パシフィックコンピュータ(株)、岡崎市医師会、小林クリエイト(株)、日本サード・パーティ(株)、(株)平岩鉄工所など</p>																																					
<p>(就職指導内容) 就職担当とクラス担任が連携し、就職年次以前より就職希望調査、カウンセリング、模擬面接、模擬試験、求人情報提供、履歴書の書き方からリクルートスタイルセミナー、メイクアップセミナーなど可能な限り具体的に個別対応している。</p>																																					
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本情報技術者試験</td> <td>65人</td> <td>27人</td> <td>応用情報技術者試験</td> <td>68人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>情報処理安全確保試験士試験</td> <td>12人</td> <td>8人</td> <td>データベーススペシャリスト試験</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>エンベデッドシステムスペシャリスト試験</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>医療情報基礎知識検定試験</td> <td>7人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>SEA/J (CSBM)</td> <td>18人</td> <td>7人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数	基本情報技術者試験	65人	27人	応用情報技術者試験	68人	7人	情報処理安全確保試験士試験	12人	8人	データベーススペシャリスト試験	3人	2人	エンベデッドシステムスペシャリスト試験	2人	2人	医療情報基礎知識検定試験	7人	2人	SEA/J (CSBM)	18人	7人			
資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数																																
基本情報技術者試験	65人	27人	応用情報技術者試験	68人	7人																																
情報処理安全確保試験士試験	12人	8人	データベーススペシャリスト試験	3人	2人																																
エンベデッドシステムスペシャリスト試験	2人	2人	医療情報基礎知識検定試験	7人	2人																																
SEA/J (CSBM)	18人	7人																																			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>																																					

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
361人	14人	4%
<p>(中途退学の主な理由) 意欲欠如、社会的不適合、経済的理由、進路変更など</p>		

(中退防止・中退者支援のための取組)
スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、
ハラスメント相談窓口など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲーム学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,810 時間	1,800 時間	480 時間	1,530 時間	時間	時間
			3,810 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		115 人	0 人	4 人	2 人	6 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。
成績評価の基準・方法
本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価(秀・優・良・可・不可)を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。
卒業・進級の認定基準
<p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>
学修支援等
中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34 人 (100%)	0 人 (%)	22 人 (65%)	12 人 (35%)

<p>(主な就職、業界等) 主にIT業界、ゲーム系業界 (株)エスシーシー、(株)PFU、(株)ダイレクトウェイヴ、(株)中京情報システム、トッパン・フォームズ・オペレーション(株)、(株)全日警、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)アプソル、(株)イエス、(株)共同エンジニアリング、(株)平山、(株)グッドフェイス、(株)オクトパズなど</p> <p>(就職指導内容) 就職担当とクラス担任が連携し、就職年次以前より就職希望調査、カウンセリング、模擬面接、模擬試験、求人情報提供、履歴書の書き方からリクルートスタイルセミナー、メイクアップセミナーなど可能な限り具体的に個別対応している。</p>																													
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本情報技術者試験</td> <td>8人</td> <td>2人</td> <td>マルチメディア検定ベーシック</td> <td>49人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>マルチメディア検定エキスパート</td> <td>39人</td> <td>2人</td> <td>応用情報技術者試験</td> <td>8人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>CompTIA IT ファンダメンタルズ</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数	基本情報技術者試験	8人	2人	マルチメディア検定ベーシック	49人	33人	マルチメディア検定エキスパート	39人	2人	応用情報技術者試験	8人	1人	CompTIA IT ファンダメンタルズ	3人	3人			
資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数																								
基本情報技術者試験	8人	2人	マルチメディア検定ベーシック	49人	33人																								
マルチメディア検定エキスパート	39人	2人	応用情報技術者試験	8人	1人																								
CompTIA IT ファンダメンタルズ	3人	3人																											
<p>(備考) (任意記載事項)</p>																													

<p>中途退学の現状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度当初在学者数</th> <th>年度の途中における退学者の数</th> <th>中退率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>121人</td> <td>7人</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table>			年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	121人	7人	6%
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率						
121人	7人	6%						
<p>(中途退学の主な理由) 意欲欠如、社会的不適合、経済的理由、進路変更など</p>								
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など</p>								

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	CG・Web学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,540 時間	510 時間	630 時間	2,400 時間	時間	時間
			3,540 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		45人	0人	2人	3人	5人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。
成績評価の基準・方法
本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価(秀・優・良・可・不可)を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。
卒業・進級の認定基準
<p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>
学修支援等
中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (%)	8人 (72%)	3人 (28%)

<p>(主な就職、業界等) デザイン業界、印刷業界他 東亜合成(株)、ライズエム(株)、(株)モールドテックジャパン、(株)バローホールディングス、 (株)波多野組、(株)畔柳工業、(株)ワールド</p>								
<p>(就職指導内容) 就職担当とクラス担任が連携し、就職年次以前より就職希望調査、カ ウンセリング、模擬面接、模擬試験、求人情報提供、履歴書の書き方からリクルートス スタイルセミナー、メイクアップセミナーなど可能な限り具体的に個別対応している。</p>								
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CGクリエイタ検定ベーシック</td> <td>16人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	受験者数	合格者数	CGクリエイタ検定ベーシック	16人	4人
資格・検定名	受験者数	合格者数						
CGクリエイタ検定ベーシック	16人	4人						
<p>(備考) (任意記載事項)</p>								

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、 ハラスメント相談窓口など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ITスペシャリスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,900 時間	1,860 時間	660 時間	1,380 時間	時間	時間
			3,900 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		97 人	0 人	4 人	0 人	4 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。
成績評価の基準・方法
本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価(秀・優・良・可・不可)を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。
卒業・進級の認定基準
<p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>
学修支援等
中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43 人 (100%)	人 (%)	35 人 (81%)	8 人 (19%)

<p>(主な就職、業界等) 主にIT業界 (株)IACソリューションズ、NDSインフォス(株)、NTPシステム(株)、(株)PFU、(株)SCAシステム、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)アクロビジョン、(株)エイジェック、(株)エイチ・エル・シー、(株)シーアールイー、(株)シーエスイー、(株)ソフトテックス、(株)ティ・エス・シー、(株)テクニカルアンサー、デュプロ販売(株)、トッパン・フォームズ・オペレーション(株)、(株)トヨシマビジネスシステム、(株)フューチャーイン、(株)ブレインシティ、(株)メイケイ、(株)第一コンピュータリソース、(株)日本システムプランナー、(株)名鉄情報システムなど</p>					
<p>(就職指導内容) 就職担当とクラス担任が連携し、就職年次以前より就職希望調査、カウンセリング、模擬面接、模擬試験、求人情報提供、履歴書の書き方からリクルートスタイルセミナー、メイクアップセミナーなど可能な限り具体的に個別対応している。</p>					
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p>					
資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数
基本情報技術者試験	30人	23人	応用情報技術者試験	16人	1人
情報処理安全確保試験士試験	2人	2人	エンベデッドシステムスペシャリスト試験	1人	1人
医療情報基礎知識検定試験	7人	4人	SEA/J(CSBM)	37人	8人
<p>(備考) (任意記載事項)</p>					

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103人	1人	1%
<p>(中途退学の主な理由) 社会的不適応</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	メディアデザイン学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,400 時間	480 時間	420 時間	1500 時間	時間	時間
			2,400 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		11人	0人	1人	2人	3人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。
成績評価の基準・方法
本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価(秀・優・良・可・不可)を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。
卒業・進級の認定基準
<p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>
学修支援等
中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	6人 (60%)	2人 (20%)	2人 (20%)

(主な就職、業界等) 主に印刷業界 鈴木マーク(株)、(株)中部					
(就職指導内容) 就職担当とクラス担任が連携し、就職年次以前より就職希望調査、カウンセリング、模擬面接、模擬試験、求人情報提供、履歴書の書き方からリクルートスタイルセミナー、メイクアップセミナーなど可能な限り具体的に個別対応している。					
(主な学修成果(資格・検定等))					
資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数
CGクリエイタ検定ベーシック	6人	4人			
(備考) (任意記載事項)					

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	1人	5%
(中途退学の主な理由) 意欲欠如、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	IT (情報技術) 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,370 時間	1,110 時間	510 時間	750 時間	時間	時間
			2,370 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		85人	0人	2人	1人	3人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目 (科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。
成績評価の基準・方法
本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価 (秀・優・良・可・不可) を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。
卒業・進級の認定基準
<p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>
学修支援等
中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	6人 (25%)	13人 (54%)	5人 (21%)

(主な就職、業界等) 主にIT業界 (株)アカギ、(株)ウエルカムバスケット、(株)エフタス、クレストテクノロジーズ、(株)コーワメックス、(株)シー・ティー・ワイ、(株)システムアシスタンス、(株)ツリーベル、(株)情報でん浅野段ボール、(株)日本プレースメントセンターなど					
(就職指導内容) 就職担当とクラス担任が連携し、就職年次以前より就職希望調査、カウンセリング、模擬面接、模擬試験、求人情報提供、履歴書の書き方からリクルートスタイルセミナー、メイクアップセミナーなど可能な限り具体的に個別対応している。					
(主な学修成果(資格・検定等))					
資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数
基本情報技術者試験	17人	9人	SEA/J(CSBM)	33人	5人
(備考) (任意記載事項)					

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	10人	14%
(中途退学の主な理由) 意欲欠如、社会的不適合、経済的理由、進路変更など		
スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ICTビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,220 時間	630 時間	630 時間	960 時間	時間	時間
			2,220 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15人		7人	0人	1人	0人	1人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。
成績評価の基準・方法
本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価(秀・優・良・可・不可)を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。
卒業・進級の認定基準
<p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>
学修支援等
中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)
令和3年度 新設学科のため実績なし

中途退学の現状
令和3年度 新設学科のため実績なし

(中途退学の主な理由)

スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合情報(大学併修)学科	100,000 円	364,000 円	442,000 円	
ゲーム学科	150,000 円	588,000 円	482,000 円	
CG・Web学科	150,000 円	588,000 円	482,000 円	
ITスペシャリスト学科	150,000 円	588,000 円	482,000 円	
メディアデザイン学科	150,000 円	588,000 円	482,000 円	
IT(情報技術)学科	150,000 円	588,000 円	482,000 円	
ICTビジネス学科	150,000 円	588,000 円	482,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・本校独自の奨学金制度があり、該当者は入学時の前期学費を減免している。 ・入学時に高校での資格等の取得状況により前期学費を減免する制度がある。 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ncs.ac.jp/ninka/file/hyouka2021.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>企業委員、卒業生、地域住民委員から構成される委員が、学校の自己評価結果をもとに、学校運営を評価する。主な評価項目は、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献である。</p> <p>その評価結果を教育活動その他の学校運営改善等に生かし、学校運営の客観性と透明性を高めることを目的とする。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
中部IT協同組合 副理事長	R3.4.1～ R4.3.31	業界団体役員
(株)ハーモネット 取締役会長	R3.4.1～ R4.3.31	企業委員
(株)エスシーシー 執行役員 名古屋支店長	R3.4.1～ R4.3.31	企業委員
(株)エスシーシー 名古屋支店 マネージャ	R3.4.1～ R4.3.31	企業委員
(株)エスシーシー 名古屋支店 部長	R3.4.1～ R4.3.31	卒業生
光陽カメラ	R3.4.1～ R4.3.31	地域住民
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ncs.ac.jp/info/pdf2021/info9.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.ncs.ac.jp/info/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	名古屋情報メディア専門学校
設置者名	株式会社エスシーシー

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		75人	72人	72人
内 訳	第Ⅰ区分	49人	50人	
	第Ⅱ区分	18人	17人	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				72人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。